

第4章 建設業者の新分野進出事例集

過去に建設業サポートブックで紹介した新分野進出事例については、石川県土木部監理課のホームページで見ることができます。<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kanri/supportdesk/supportbook.html> また、建設業者の先進的な取り組み事例の紹介については、建設業サポートデスクでも行なっています。(建設業サポートデスクのお問い合わせ先はP51をご確認ください。)

掲載企業一覧

番号	企業名	区分	概要	掲載ページ
1	(株)トーケン	製造業	発泡セラミックスを活用した環境緑化事業	32
2	(有)松風産業	農業	耕作放棄地を利用したわさび栽培	34
3	木野建設(株)	サービス業	河北潟遊休農地を利用した市民農園の運営	36
4	金剛建設(株)	農業	耕作放棄地を利用した農作物の栽培	38
5	(有)中出設備工業	製造業	もみ殻を加工した燃料等の製造	40
6	北菱電興(株)	農業	耕作放棄地を活用したいちご栽培	42
7	(株)サンテック	養鶏業	品質を重視した鶏肉・鶏卵の生産加工販売	44
8	(株)岸グリーンサービス	サービス業	旧事務所を活用した資格取得学校の経営	46
9	高藤建設工業(株)	農業	遊休地を利用した果樹栽培	47
10	(株)北陸グリーンサービス	製造業	廃材を利用した新製品の製造販売	48

発泡セラミックスを活用した環境緑化事業

【製造業】株式会社トーケン

会社概要

代表者	代表取締役 根上 健正	所在地	小松市浮城町76-1
資本金	7,000万円	従業員数	78人（うち新分野9人）
直近決算売上高	7,341,659千円	連絡先	TEL 0761-21-8818

進出事業の概要

当社は、グループ企業が製造過程で発生する廃棄物のバイオマスケイクと能登産珪藻土を使って開発した高性能の発泡セラミックス（商品名：グリーンビズ）を活用し、従来の屋上緑化システムが複数素材を必要とするところ、グリーンビズを基盤材に、多肉植物のセダムを活着、一体化させることにより、1枚で性能発揮ができる新商品（商品名：グリーンビズ-G）を開発しました。



本社屋上のサンプル施工例

これにより軽量化や運搬の省力化を実現し、また、給水設備不要の無灌水緑化システムによりローメンテナンスであることや、断熱性、耐火性に優れ、保水性、透水性が極めて高く、無機質・無害のリサイクル可能な素材であるなどの特徴を有する商品として、その生産と販売・施工を行う環境緑化事業に新規参入しました。



セダム屋上緑化施工例

進出事業の詳細

販売面では、当初より全国展開を想定し、東京事務所、大阪事務所を開設するとともに、生産面では石川県の建設業複業化支援プログラムを活用し、小松の圃場を5棟整備したほか、自社生産でカバーしきれない部分を千葉県、愛知県、石川県七尾市の業者や組合に生産を委託し、生産の管理と品質の維持に力を入れています。



使用前の発泡セラミックス



ハウス栽培の様子

また、壁面緑化やインターロッキングブロックなどの発泡セラミックスを用いた商品開発や販売も行ってきましたが、今後の拡販に向けては、販売・施工の委託協力店の開拓も課題となっています。

取り組みの成果として、平成23年には、第13回国土技術開発賞・地域貢献技術賞受賞するなど、各種表彰や評価を受けることにより、当社の認知度も上がるとともに、こうした取り組みが企業イメージの向上に大きく貢献したことから、当社の経営面、特に本業の建設業に良い影響・効果をもたらし、業績アップにつながりました。



太陽光とグリーンビズ-Gの展示

耕作放棄地を利用したわさび栽培

【農業】 有限会社松風産業

会社概要

代表者	取締役社長 風 一	所在地	白山市白峰イ136-1
資本金	1,000万円	従業員数	4人（うち新分野1人）
直近決算売上高	92,274千円	連絡先	TEL 076-259-2262

進出事業の概要

白山麓は清涼な気候と、きれいな雪解け水に恵まれ、昔からわさび栽培が行われてきましたが、過疎化や高齢化の進む当地では不耕作の田畑が増え、美しい山村の風景から活力が失われつつあります。この美しいわさび田と石積みが続く山村風景を守り育てるために農業参入しました。

耕作放棄地と遊休地を利用し、わさび田の再整備には、本業である建設業の技術や重機を活用しました。

じっくりと2年半から3年間かけて育成した「風のわさび」は、地元の旅館や料亭などから、香りが高く味がしっかりしていると高い評価を頂いています。



今年出荷予定のわさび田



栽培施設内のわさび田

進出事業の詳細

商品には、石清水だけで、無農薬・無化学肥料で栽培した新鮮な生わさびを使用し、地元の酒・醤油などの調味料にも人工的な添加物は一切使用していません。

栽培したわさびは、生わさびとして販売するだけでなく、わさび漬けや、わさびドレッシングを自社で加工するなど、より付加価値を高めて販売しています。



わさび漬け

加工品の材料には、わさびの茎や規格外品・小根を利用して、加工・販売を行うことにより、無駄のない経営を目指しています。

主な販売先は、地元の宿泊施設、JAなどの産直施設や道の駅、個人商店などとなっていますが、さらに販路の拡大を図っているところです。

また地元には昔からある品種も試験的に栽培しており、粘りが強く香りが良い、さらに品質の高いわさびづくりを行っています。

今後も耕作放棄されたわさび田の再整備・植付けを行い、耕地面積の拡大を図っていきたいと考えています。



河北潟遊休農地を利用した市民農園の運営

【サービス業】木野建設株式会社

会社概要

代表者	代表取締役 木野市一	所在地	金沢市才田町は58
資本金	2,000万円	従業員数	8人（うち新分野3人）
直近決算売上高	232,560千円	連絡先	TEL 076-258-5131

進出事業の概要

河北潟の遊休農地と使用されていない作業所を活用して、市民農園の「さん菜園河北潟」の運営を行い、平成25年4月より農地の貸し出しを実施しています。（1区画60㎡、利用料金15,000円／年）

敷地の造成・区画割り、水道設備の配置には本業である建設業の経験を活用しました。

区画の利用率は全150区画のうち約4分の1と徐々に増えていますが、より利用率を高めるため、ホームページを開設し、新聞の折り込みチラシを入れるなど、商工会にも相談しながら広報・宣伝活動にも取り組んでいます。



さん菜園河北潟の看板



五郎島金時の植え付け

進出事業の詳細

子育てにやさしい企業プレミアムパスポート事業の協賛店に加盟しており、また、農園には除草剤等を使用していないため、食の安全を考える子育て世代や、シニア世代の時間を有効活用できる方など、幅広い世代にご利用いただいています。

また、定期的に利用者向けの農業指導講習会も開催しています。



幼稚園児の水やり



充実した用具

旧作業所は休憩所として自由に使っていただけるようにトイレ等を整備しています。

また、初心者にもご利用いただけるように、用具の無料貸出しや肥料の販売も行っています。

空き区画を埋めるため、今後も広報・宣伝活動に取り組んでいきます。

また、空き区画が埋まれば、遊休農地を利用して区画を増やしていきたいと考えています。



農業指導の講習会

耕作放棄地を利用した農作物の栽培

【農業】金剛建設株式会社

会社概要

代表者	代表取締役 福島 幸子	所在地	金沢市近岡町834
資本金	5,630万円	従業員数	26人（うち新分野7人）
直近決算売上高	907,947千円	連絡先	TEL 076-239-4959

進出事業の概要

食の安全が取り上げられるようになり、少しでも地域社会に寄与したいと考え、建設業の複業化として平成21年に農業に参入しました。

新鮮かつ安全・安心な野菜をより多くの人へ提供するため、土づくりから始めようと考え、平成23年に穴水町で耕作放棄地だった農地を取得し、平成24年には13haまで耕作面積を確保し、JGAP認証も取得しました。

農場整備と灌水の整備には本業の経験を活かし、キャベツ、かぼちゃ、にんにく、しいたけ、野沢菜、いちじくなどの栽培を行っています。



キャベツ農場



キャベツの収穫作業

進出事業の詳細

野菜の栽培には、天候・害虫・雑草対策など知識と経験が不足していたことから、愛知県より講師を呼びました。

作物の病気などのリスクも大きく、利益構造においても難しい面があることが分かりました。

また自社で食品廃棄物をリサイクルした液肥を製造し、循環型農業による環境へ配慮した長期的な計画による利益の確保を目標として事業を行っています。



加工品として販売している『能沢菜』



いちじくの収穫作業

収穫した野菜は、自社工場で加工し、外食チェーンや給食センターへの販売を行うほか、穴水の『能沢菜』や赤土キャベツなど、地域ブランドとしての販売も行っています。

これらのブランド化した野菜の販売と発信により、地域社会へ貢献できればと考えています。



原木しいたけの栽培

もみ殻を加工した燃料等の製造

【製造業】 有限会社中出設備工業

会社概要

代表者	代表取締役 中出正昭	所在地	七尾市矢田町3-78-1
資本金	1,000万円	従業員数	6人（うち新分野1人）
直近決算売上高	101,290千円	連絡先	TEL 0767-53-0276

進出事業の概要

地元で処分困っているもみ殻を原料に、薪の代用となる成形燃料棒「モミガライト」の製造・販売を行っています。

この製品の特徴としては、火力が強く、高圧縮されているため燃焼時間も1～2時間と長く、薪と違い乾燥させる必要もありません。

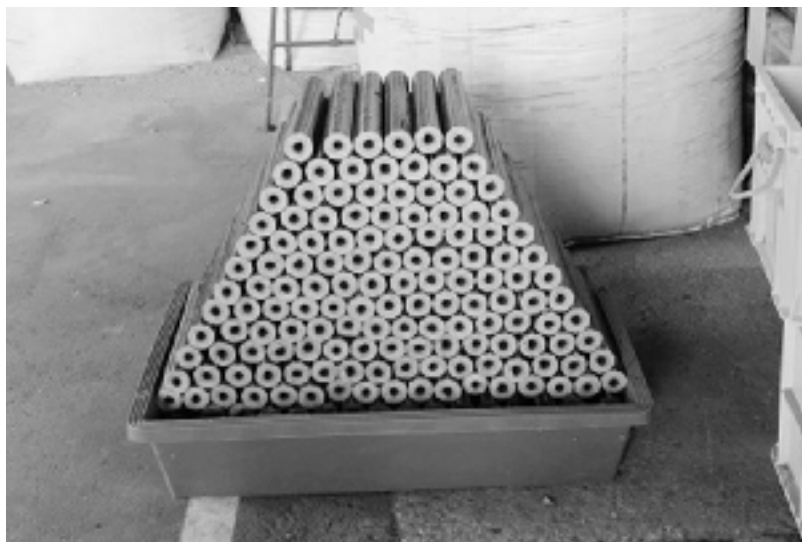
また、薪ストーブでの利用が多く、一度に大量に購入される方もいます。

社内に環境部門を設け、本業の空いた時間にも製造を行っています。事業を採算ベースに乗せるため、さらに販路の拡大を図りたいと考えています。

平成25年からホームページのリニューアルと広告チラシの配布を行っているほか、地元でのバーベキューの際には炭の代わりに使用するなど実演活動も行っていきます。



工場内の様子



袋詰め前のモミガライト

進出事業の詳細

モミガライトは長期間の保管が可能のため、緊急時・災害時の備蓄燃料として着火剤などとセットでの販売も行う予定としています。

この商品はもみ殻100%のため、灰は田畑に戻せば良質な土壌改良材にもなります。

これからも商品の販売を通じて地域の環境に対する関心に貢献できればと考えています。



モミガライトの製造

セット商品の「いるかん」



耕作放棄地を活用したいちご栽培

【農業】北菱電興株式会社

会社概要

代表者	代表取締役 小倉 一郎	所在地	金沢市古府3-12
資本金	10,000万円	従業員数	290人（うち新分野4人）
直近決算売上高	18,142,892千円	連絡先	TEL 076-269-8522

進出事業の概要

建設業界の低調推移の中、新規事業として平成25年より太陽光発電所の建設に取り組んでいましたが、取得用地に余地が多く、また高台平地であることから、用地の有効活用と自然エネルギーの融合の可能性を考え、ハウス営農での農業参入を決めました。

農業は未経験だったため、地元での経験者を募りましたが、「指導は良いが専任従事はできない。」との反応が多かったことから、社員数人を県外の専門業者へ派遣して、教育を受けさせ、また定期的に指導を受けることで技術の習得に努めました。

販路については、当初の相談相手が卸売の方だったため、自社で開拓する必要はありませんでしたが、その後、地元のスーパーやケーキ店などからも問い合わせをいただきました。



3棟のビニルハウス



出荷用のいちご「のとひかりっ娘」

進出事業の詳細

空調システム・コントロールシステムなどの自社の機品や技術を導入し、エコエネルギーによる栽培技術の確立と低コスト及び高品質生産の農業を目指しています。



ビニルハウス内の様子



実ったいちご

進出の成果としては、異分野参入に伴う企業イメージの向上や社内における新規事業への取組機運が高まったことなどがあげられます。

今後はさらにハウスを増棟し、様々な果物・野菜づくりに取り組んでいきたいと考えています。



温度や二酸化炭素濃度などの管理

品質を重視した鶏肉・鶏卵の生産加工販売

【養鶏業】株式会社サンテック

会社概要

代表者	代表取締役 林 義雄	所在地	鳳珠郡能登町字布浦コ-21-1
資本金	2,000万円	従業員数	30人（うち新分野3人）
直近決算売上高	320,769千円	連絡先	TEL 0768-72-2121

進出事業の概要

経営の安定を図るため、複業化への取組を考えた際に、県内には「地鶏」の生産者がいなかったことから、新分野への取り組みとして進出を決めました。

鶏舎の建設には、自社の建設技術と本業で空いた余剰人員を活用しました。

育成方法にこだわることで、良質な「能登地鶏」として地域ブランドを確立し、ターゲットを都市部の高級志向の消費者とすることで、能登の自然や安全安心をアピールできる付加価値の高い製品の開発を行いました。

商品の開発や販路の開拓には、石川県産業創出支援機構の支援を受けました。



鶏舎の概観



採卵作業

進出事業の詳細

当初は、販売数が予想できず、多くのロスが出てしまったこともありましたが、今では生産調整することもできるようになりました。

味にこだわった商品として、地元直売所や百貨店などでも販売しており、イベントに参加して出店なども行っています。



青いたまご



商品『能登地どりカレー』

加工品としては『能登地鶏カレー』、『能登地鶏カステラ』などを販売していますが、今後は、こだわりの鶏肉・鶏卵を使用した製品開発により、さらなる販路拡大を図っていきたいと考えています。



商品『能登地どりカステラ』

旧事務所を活用した資格取得学校の経営

【サービス業】株式会社岸グリーンサービス

会社概要

代表者	代表取締役 岸 省 三	所在地	加賀市新保町カ33
資本金	4,800万円	従業員数	91人（うち新分野4人）
直近決算売上高	1,525,660千円	連絡先	TEL 0761-74-8188

進出事業の概要

建設業を営むうえで土木・造園の資格取得は必須となっていますが、試験の合格率は平成18年から低くなっています。

一方、通常の仕事が終わってから通うにも、近隣には資格取得学校がなかったことから、自社で学校経営することを思い立ち、事務所を改築して、備品なども調達し、平成25年に、社員だけで試験運用を開始しました。

また今年から、スタッフも雇い、本格的な運営に取り組んでいますが、最近では、社内の意識改革や社員教育の場としても活用されています。



資格取得のパフレット



学習室

チラシやDMなどで生徒数も少しずつ増えてきましたが、今後はさらに生徒数を増やして資格取得者を増やしていきたいと考えています。

遊休地を利用した果樹栽培

【農業】高藤建設工業株式会社

会社概要

代表者	代表取締役 高藤 一 男	所在地	小松市戸津町ヨ29-3
資本金	3,000万円	従業員数	19人（うち新分野3人）
直近決算売上高	418,236千円	連絡先	TEL 0761-65-3388

進出事業の概要

平成22年より、地域の果樹振興に寄与したいとの思いから、建設業複業化支援プログラムを利用し、いちじくと栗の栽培による農業参入を決めました。

植樹には小松市の新たな果樹産地育成事業による助成もあり、また栽培にあたっては、JAや南加賀農林総合事務所の営農指導を受けるなどしています。

いちじくは、平成24年の秋には道の駅こまつに初出荷し、平成25年も小粒でしたが出荷することができました。

今後、ノウハウを身につけてから規模を拡大し、栗なども出荷していきたいと考えています。



いちじくの収穫



いちじくの販売

廃材を利用した新製品の製造販売

【製造業】株式会社北陸グリーンサービス

会社概要

代表者	代表取締役 松平博之	所在地	金沢市南四十万3-39-2
資本金	3,000万円	従業員数	7人（うち新分野2人）
直近決算売上高	106,716千円	連絡先	TEL 076-296-8118

進出事業の概要

高齢化などにより地域で竹林の管理ができなくなってきており、竹資源の活用を図るため、平成24年より複業化を始めました。

しいたけ農家で廃棄されたホダ木と竹チップなどをあわせた昆虫マットは、いしかわ昆虫館などでも高評価をいただいています。



昆虫マット



紙で出来た布製品

今後は、竹炭を使った製品や、和紙で作った竹酢液を定着させた抗菌・消臭の効果の高い布製品などの販売を予定しています。



濃縮した竹酢液